



書家 加藤裕さん作『久遠』

真宗高田派
賢隆山久遠寺

〒460-0007

名古屋市中区新栄1-4-6

Tel & fax 052-241-5231

www.kuonji.net

Kenryuzan-kuonji@nifty.com

久遠寺住職の いま不思議ないのちを生きている!



毎年暑さが激しく感じられるのは、環境の変化に依るものでしょうか。それとも人間が全ての自然環境に関わり、思い通りにコントロールしようとした結果でありましょうか。局地的雷雨、竜巻、土砂崩れ、洪水が今まで以上に凄さを増しています。科学技術の進歩によつて、何もかも自由にできるとの物質的考えが進み、人間の価値観が変化しました。そして、あるべき存在感や連帯感は薄くなり、世間に甘え、自分自身にも甘えが強くなっているようです。

最近の明るいニュースと言えば、4年に一度のオリンピックがロンドンで7月25日から7月12日に亘つて行われました。各国のアスリート達が競い合い、一人一人秀でた技術や体力の素晴らしさで多くの人々に感動を与え、私達は勇気をもらいました。この間、世界中の人々がスポーツを通じて、互いに争う事なく心が通じあえることを願っていると感じることができました。結果としてのメダル獲得も必要でありましたが、一人一人の選手の歴史を見た時、選ばれた事や参加できた事、またそれ以前にここまでくるのに多くの人に支えられ、出会いがあったからこそと思います。選手が前述のようなことを語られるのを聞くと、人間は人と人とのつながり、願いによつて一人一人が存在している事を感じました。内村選手が銀メダルを獲った時お母さんがこう言われました。銀は金よりいい。銅は金と同じ。「結果としては色は違いますが、選手によつては感謝感謝で成し遂げた充実感でいっぱいであったと思ひ、中途半端ではこのような感動はないことを痛感させられました。

そして、去る8月15日は67回目の終戦記念日でありました。ここでは、3月11日の原発事故と

共に間違った考えであったことと反省し、戦争は自分の国だけではなく相手の国の罪なき人々をも苦しめる事であると改めて認識しました。自国では上層部の命令によつて若き青年たちが犠牲となり、明日の幸せなることを願つて国の為、両親の為に、尊い命を捧げました。このようなことが2度起こらないように私たち人間の欲望の過ちを反省し、後世に伝えてゆかねばならないでしょう。今では戦争を体験された方々も少なくなり、新聞などを通してその歴史を聞き伝えてゆかねばなりません。

また、原発事故においてもこれは人災であり、自然界の変化を想定できなかった人間の甘さであります。この現状を早くから検証できなかったことへの反省と同時に、私たちの生活の物質的な豊かさが自然との共生を拒んだことは否めません。放射能の恐怖、津波の災害を通して、過去の歴史から学びたいものです。人間の考えがままならず思いどおりに事が運ばない事実は、苦しいことではありません。けれども、人間本来の在り方を知る事実として受け入れる事が出来るか出来ないかが非常に重要な点かと思ひます。

仏法に今受け難き人間としての不思議ないのちを頂いている事実を頷くことが出来なかつたのならば、世の中が物質的に便利に豊かになつても本当の自分は見えてこないのではないのでしょうか。逆に自分と共に苦しみ、喜び合えるつながりの中に私自身が見出し出した時、私の近くに目には見えないが教えとして、善き人の声が聞えてくるのではないかと思ひます。

久遠寺住職 高山元智

合掌

法語カレンダーを味わおう!!

十月

信心よろこぶ

そのひとを

如来ひとしと

ときたまもう

何かを信じなければ生きてゆけませんし、信ずることによつて喜びまた裏切りもあるのが私たちの世界です。その信ずる心は私流に信ずる心で、時や場所、環境が変われば変わつてしまふ心であります。法語で言われている信心は、私から起る信心ではなく、私から起ると思つていた私、私自身が願われていた存在であつたんだと気付かせて下さるお心であります。生きていく間、あなたを信じますから、ご利益を下さいということではなく、私の考えが逆であつたんだ、向こうから願われている自分に目覚め全ての事実を受け入れる身となることをお教え下さっているのでありますよ。

十一月

弥陀の誓願は

無明長夜の

おおきなる

ともしびなり

親鸞聖人は、海や船、山、光をもつて人生の苦や闇、また救いを顕されました。私も少年の頃、夜寝れない時はいろいろ考えると不安になり、怖いことを想像してなかなか寝付けなかつた時がありました。しかし、朝が来ると一瞬にそのことは忘れ、嬉しさを一杯であつたことを思い出されます。朝日が出て、長い夜が明けることで、その光を頼りとして希望の日々を迎えることができたのであります。弥陀の誓願は阿弥陀の誓いの言葉であります。全ての人々に限りない智慧と、限りない命が続いていると、その徳を成就しようとするのが仏の名告りであります。大海の道標となり、灯台の如く人生の光となる誓いなのであります。

十二月

いよいよ

大悲大願はたのもしく

往生は

決定と存じ候え

言葉に「夫」がついた時、大悲大行、大願、大信のように我々自身の事ではなく、すべて仏様から私への御心であり、教えであります。今だ生まれていない浄土は急ぎでは行きたくない、浄土は良い所かわからないけどこの世が名残惜しいと言えども縁がつかれば力なくして彼の土へかねばなりません。念仏を称えても喜びも生まれてきませんし、教えられている浄土へ生まれるたいとも思わないのです。しかしこれは私の思い(煩惱)で考えていることで、縁がくれば彼の土へ行かねばなりません。思いで生きていた生が、死んで全ての者に願われている責任ある生を生き切りましよう。



（ご案内）

平成24年10月20日(土)

◎当山報恩講執行

法要 午後一時より

法話 午後二時より

布教使 浄泉寺前任職 戸田信行師

非時 お食事) 午前十一時より

庫裡座敷でお食事をお出ししております。是非召し上がつて頂き、

報恩講のお勤めを致しますよ。

◎報恩茶会 於書院茶室

午前九時半～午後十一時半迄

寺の茶室で、お茶とお菓子を

是非ご相伴下さい。

お勤め前の一服に如何ですか。

年に一度の報恩講をお勤め致します。皆様お誘い合わせの上、御参詣下さる事を、寺族一同心よりお待ちしております。

南无阿弥陀仏

久遠寺の掲示板

道は

近き

迷える人は

それを

遠きに

清沢満之

本山より株分けされた蓮



久遠寺正門に設置してある掲示板法語は月に二回ほど更新しております。法語に含ませて当寺住職の味わいをお楽しみ下さい。

仏教クイズ

長編連載 『心の響き』

久遠寺檀家の一員さん

オリンピックでも自国の旗がポールに上る時は敬虔の情で礼をつくすのは極々普通の姿ではないでしょうか。温室で育った花と雑草の中で育った花では、自ずから強さは分かります。我々人間も長い人生の間には、苦楽は糾える縄の如いです。一度の人生であれば何事にも挫折しない根性となとの調和する思いやりのある心を幾つになっても育てたいものです。

第二次世界大戦の末期、昭和二十年、我が国の少年特攻隊員達は最後の出撃に「母さん、母さん」と母親を涙ながらに連呼して飛び立って行ったと聞いておりますが母の情愛は永遠で見返りを求めない本当に純粹の気持ちで子供の心を捉えるのでしよう。社会は一人で生存は出来ません。人と人との連帯観、人と人との支え合いで生活する限りは常に相手の立場を考慮して何事に当たるとも上位の者が勤めて目線を同等に和をもって運めば前途が開かれ光明が見受けられること必然でしょう。

次回へ続く

真宗僧侶の身なりのクイズ、あなたは答えられる???

一、通称 袈裟』と称されるもの、それはどれ?

①白い着物 ②黒い道中衣 ③首、もしくは肩から下げている綺麗な布地

二、真宗高田派僧侶の髪型の決まりごとは?

①長髪 ②短髪 ③坊主頭 ④剃髪 ⑤どれも良い

三、お念珠は左右どちらの手で持つ?

①右手 ②左手 ③通常持たない

四、現代では使用しない袈裟はどれ?

①五条袈裟 ②輪袈裟 ③七条袈裟 ④糞掃衣

答えはページの左下へ幾つ正解しましたか?

報恩講って何?

第30号より引用)

親鸞聖人は九十歳（二二八二年）十一月二十六日に、浄土にお還りになりました。明治五年に太陰暦を太陽暦に替わったのを機に、一月十六日をご命日として法要が勤められるようになりました。各末寺においては十月を始めとして十一月、十二月、一月に報恩講を勤めております。聖人の遺骨は京都東山大谷の地に納められ、その十年後には東山吉水の地に遺骨を移して、六角の堂を建立し、聖人の御影像を安置しました。報恩講という名称は、本願寺第三代 覚如上人 親鸞聖人の曾孫が親鸞聖人の遺徳を讃え、『報恩講私記』を著された時からです。

毎年のご命日を通して、親鸞聖人のご恩徳を偲び、聖人のみ教えを学ばせて頂く、また改めて教えを確認させて頂く事が、報恩の名の由来であります。私達が思う恩に報いるとは、両親または先祖・恩師という周りの方々の御陰で今の自分があるという恩恵に感謝することであり、ます。しかし、真宗での報恩は九十年の生涯を通して、真実の宗教とは何であるかと教えて下さった事、出遇わせて頂いた事への感謝であることが真義なのであります。

南无阿弥陀仏

ご本山から株分けされた蓮が咲きました！

今年2月に「ご本山から株分けして頂いた蓮がついに咲きました。咲き頃である7月はまったく咲く気配すらなかったのですが、8月に入る直前に「一気に花開きました。ただただ嬉しいばかりでした。」

開花結果としては、浄台蓮は8つ、大賀蓮は2つ、残念ながら輪王蓮は咲くことはありませんでした。咲き誇った花たちも今はすっかりハチスとなり、その枯れた姿にも雨が入ると魅了してくれます。

高原陸地不生蓮「卑湿淤泥生蓮華」とお経様（大出一門偈）にあるように、泥の中から綺麗な花を咲かせるその姿は、仏様と表現される所以を感じさせてくれました。また来年ちゃんと咲かす為に今後もしっかりお世話をしたいと思います。

久遠寺衆徒 南无阿弥陀仏
高山信雄



一気に花咲く浄台蓮(8/5)



つぼみを携える浄台蓮(8/3)



雨の後のハチス(9/18)



記念すべき浄台蓮第1号(7/28)

編集後記

仏教三大聖樹をお知りですか？よくお念珠の玉で耳にする「菩提樹」。これも聖樹の一つです。



金剛菩提樹の実

お釈迦様が悟りを開いた『菩提樹』。お釈迦様が亡くなられた『沙羅双樹』、そしてお釈迦様がお生まれになった『無憂樹』と三つの樹が三大聖樹とされています。実際は、木の下もしくは近くと云うことです。

ちなみに「菩提樹」と一言に言っても様々あります。お釈迦様が悟りを開いた菩提樹は印度菩提樹(クワ科)。日本で菩提樹と言っているのは、シナノキ科の菩提樹。さらにオーストリアなどで街路樹として植えてある菩提樹があるそうです。それは西洋菩提樹だそうです。

真宗高田派の寺院は境内に「菩提樹」と「柳」が植えてあるのが特徴でもあります。お気づきでしたか？またご来寺された際に確認して見て下さいね。

仏教三大聖樹は東山植物園にもあるそうです。僕自身はまだ見に行っておらず、伝聞で申し訳ありませんが…

南无阿弥陀仏
久遠寺衆徒 高山信雄

- ◎ 久遠寺HP & blogも随時更新中です。是非お時間のある時にご覧ください。
- ◎ 寺報記事も随時募集中です。ご協力お願い致します。
- ◎ お経本・お念珠は大切なものです。床に直接置かないように気を付けましょう。

今後の予定

10月20日(土)

当山
報恩講

お勤め 午後一時半～
法話 午後二時過ぎ～
布教師 岡崎浄泉寺前住
戸田信行師

久遠寺本堂

10月20日(土)
午前9時半～

報恩茶会

お勤め前に「福如何でしょうか。是非お越し下さるのを心よりお待ちしております。」

久遠寺本堂

11月21日
午後1:30～

真宗入門法話会 ㉔
和讃のこころ

～仏教伝来～

久遠寺本堂

12月19日
午後1:30～

真宗入門法話会 ㉕
和讃のこころ

～副題未定～

久遠寺本堂

1月10日(木)
午前9:00～

修正会 お正月
墓参り

☆皆様の御参詣を心よりお待ちしております。

平和公園墓地

是非皆様お揃いで御参詣ください。